

華ちりめん伊と錦



Timebank

古い棚から出てきた日記帳



とある日、何か参考になる資料はないか
としばらく触ってもいかなかった本棚を探し
ていると、分厚いノートが一冊ありました。
何だろうと開いてみるとどうも日記のよう
です。日付を見ると、およそ二十五年前
のことから飛び飛びですが書いてあります。
持ち主は既に他界している私の祖母。

帰省中だった私の姉が兵庫の大学に戻る
ために朝一番の新幹線に乗ったものの、広
島で足止めになったのですが、実は阪神大
震災だった話などが書いてあります。その
他、家族の出来事や旅行のこと、習い事の
ことなど、嬉しいことや楽しいこと、悲し
いことや面白いことなど内容は様々。読む
と思い出されるあんな出来事や、こんな事
表立っては話をしていない心情などが綴ら
れています。懐かしい思い出とともに、亡
き祖母の面影が思い出されて目頭があつく
なります。なかには私に小遣いを渡した金
額や、親子喧嘩をしたこと、もの忘れが最
近顕著で腹ただしいこと、今後の目標など

も書かれています。いま読み起こしてみると
笑ってしまうこと、涙ぐましいこと、そんな
ことあった、あったと思い出されることなど
実にいろいろです。こちら側もいろんな感情
と記憶を織り交ぜられ、実に面白さと懐かし
さ、人柄の知れる日記帳でした。

祖母の場合はありませんでしたが、日記と
いうのは、本当の意味でプライベートなもの
ですよ。残されたものは見られる可能性
が高いので、日記とは言えど、見られたら困
ることは書かない方がいいなと思ったのでし
た。感謝すること、特に面と向かって言えな
いこと気恥ずかしいことなどは、いっぱい書
いておいた方がいいですね。もし私も日記を
つけることを始めたら、妻の悪口は書かない
ようにしようと思ったのでした(笑)それと
へそくりの場所もしあるなら詳しく書いて
あると、助かりますね(笑)

◎ 無料貸し出ししますよ



ちよつと外出しにくい長い連休です。こん
な時は、タンスの整理にはもってこいです。
着物の状態をチェックして、残しておかなく
てもいいもの、残しておきたいものなど、空
気の入替えも兼ねて整理されては如何でしょ
うか? 思い切って処分もいいですが、昨今は
リフォームも流行っていますので、洋服にし

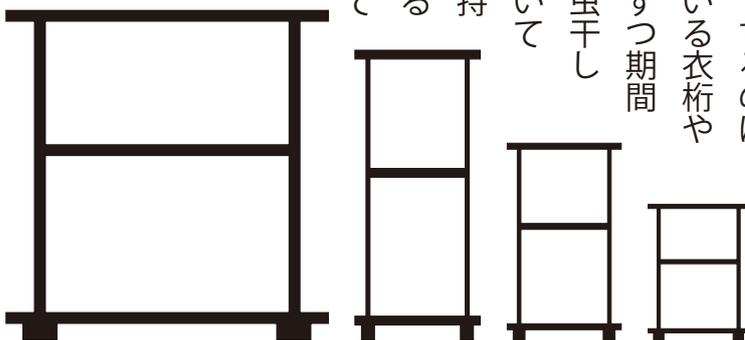
たい場合は、解いてご自宅で水洗いするの
もおすすめです。※着物としてお召のもの
は水洗いは決してしないで下さい。

でも着物って不思議なもので、見ている
と色んな思い出が浮かんできます。あの時
こうだった、お母さんが記念に作ってくれ
た、あの時求めておいて良かった、何回見
てもこの着物は大好きなど。

今回無料で貸出しするのは、
伊と錦で使用している衣桁や
樟木です。各一点ずつ期間
は二十日間です。虫干し

するのに掛けて頂いて
も良いですし、お持
ちの着物は何かある
か写真に記録されて
も良いと思います。

また、着物を飾っ
て模様替えや、思
い出の着物で記念
撮影なんかもあり
ジナルイベントで
お楽しみください。数量に限りが
ありますので、先着順とさせて頂
きます。お気軽にお尋ね下さい。



衣桁【いこう】

樟木【しゅもく】大・中・小



謎に包まれた伊と錦を少しだけ♪

最近初めて当店をご利用頂いた方に、ちょっとだけ我が家のプロフィールをご紹介します。もしご存知の方は少々お付き合いください。

伊と錦は創業した私の祖母と共に父と一緒に始めて始まります。それは昭和五十年四月のこと。父は今まで勤めていた会社を思い切って退社し着物の道へ。母はその時まで看護師をしていました。

本拠地は京都。京都といえば着物のお膝元です。



父

昭和〇8年12月28日生
京都府生まれ

元は重度障害者施設のスタッフ
座右の銘は「思い立ったが吉日」
持ち前のアクティブな性格で、
今日に至ります。



母

昭和〇6年7月15日生
福岡県生まれ

京都大学病院で勤めはじめた時、
病院が大きすぎて、迷子になり
患者さんに部署を尋ねたことも。
明るい性格がピンチをチャンスに



私

昭和〇2年6月30日生
京都府生まれ

大学卒業と共に、就職と結婚。
先物取引の仕事に就くが、ある思い
があって退社。実家に戻ってから
二人の娘に恵まれ今日に至ります。

普通呉服屋さんというと、問屋やメーカーに勤めて経験を積み、「やっぱり自分の力を試してみたい」と満を持して創業したり、家業を継いだりするものですが、私も西村家の伊と錦は違います。ずばり、「今日をはじめます」と宣言をして始まりました。お笑いのような本当の話です。その当時でもかなり異色だと思いますが、取引先にも恵まれて、白生地の良い悪いやトレンド、染めの良い悪いなどを学び、その時その時でいろんな経験を積んだことが勉強だという勢いで、当時お世話になった方々にも本当に支えらながら、成長してきました。

その後、本拠地を宇部に移し、温かいお客様に本当に恵まれて今日という日を迎えています。これまでに一番学び、一貫して変えていないのは、「主役はお客様」ということ。実際にお着物でお出かけになるのはお客様です。それだけは忘れずに日々励んでいます。こんな伊と錦ですが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

川 伊と錦のプロフィール
1. 川 伊と錦の歴史
1. 川 伊と錦の歴史

川 伊と錦の歴史

大きな声で
言わないでください

伊と錦の秘密がここに



応援よろしくお願ひします！

着物に関することお気軽にお尋ねください
着物のお手入れや寸法直し、新しいアイテムも
前結び着付け教室も開講しています (少人数制)
Facebook や Instagram でも発信しています



伊と錦
TEL.0836-34-2450 FAX.0836-34-2480
〒755-0015 山口県宇部市笹山町1-2-7